

令和 2 年度 事業計画（案）

I. 基本方針

静岡県内の経済状況は緩やかな持ち直しが続き、雇用情勢は着実に改善が進んでいるとの分析がされています。当地区の有効求人倍率は県平均を下回っている状況ではありますが、国が「70歳までの就業機会の確保」を掲げており、労働力の供給は、高齢者や女性を中心として増加傾向にあります。

このような状況の中、新規入会者の鈍化や既存会員の高齢化が進み、就業マッチングが困難な状況になり発注者のニーズに対して十分に応えられない状況が続いております。

伊豆市シルバー人材センターは、高齢者の就業機会を創出し、「生涯現役社会」の実現を果たすため、「福祉の受け手から社会の担い手」として、生きがいの充実と福祉の増進を図り、地域社会において大きな役割を果たしてまいりました。

今後も、益々多様化する時代の要請に的確に応えながら、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、会員の総意と主体的な参画により運営する組織として、就業機会の拡大・開拓や会員の拡大を図るとともに、引き続き自治体や他の関係機関とも連携・協働しながら、高齢者・地域社会の双方から愛され、信頼されるシルバー人材センターを目指してまいります。また、伊豆市においては東京オリンピック・パラリンピック競技大会の自転車競技の開催地となっております。伊豆市シルバー人材センターとして、開催を盛り上げていくとともに、関係する団体等の要請に協力し大会の成功を支援していきます。

令和2年度は、前年度の取り組みを踏まえつつ、次の重点目標を掲げ、会員及び役職員が一丸となって事業展開いたします。

II. 重点目標

1. 会員拡大と育成の推進
2. 普及啓発活動の推進
3. 安全就業強化の推進
4. 耕作放棄地荒廃防止事業の推進
5. 自主・自立、共働・共助の推進
6. 独自事業の充実と後継者育成の推進
7. 組織体制の充実と強化

Ⅲ. 実施計画

1. 会員拡大と育成の推進

全国シルバー会員 100 万人達成に向け、会員による「1 人 1 会員紹介運動」の継続、昨年度から新しく開始した伊豆市地域職業相談室での「入会・説明相談窓口」の定着、広く講習会やセミナーを実施し、新規会員の確保を目指していきます。また、資質の向上を目指し、知識・技能習得のための教育制度を充実していきます。

2. 普及啓発活動の推進

地域社会との連携を深め、市民から親しまれ、信頼されるセンターとなるため、会員による奉仕活動や交通安全啓発運動などのボランティア活動を実施します。また、会報・FM イズ・ホームページ等の広告媒体を活用、市内イベント等に積極的に参加し、シルバー人材センターの存在を PR し、新規の受注拡大・会員拡大に繋がります。

3. 安全就業強化の推進

会員の安全な就業を最優先として、就業途上における交通事故や就業中の事故ゼロを目標に、会員一人ひとりの安全意識の向上を図るため、現場リーダーによる作業前の朝礼の徹底を図るとともに、安全委員が就業現場のパトロールを実施し、事故防止に努めます。

4. 耕作放棄地荒廃防止事業の推進

年々増え続ける耕作放棄地の除草作業に対応するため、自走式草刈機を導入し作業時間の効率化を図り繁忙期にこたえきれなかった受注にこたえられるよう実施体制の整備、作業技術の向上を行います。

5. 自主・自立、共働・共助の推進

会員、役員、職員が連携を密にし、苦情・要望・提案など情報の共有化を図り、全ての会員が自主的・主体的な活動ができるよう意識の改革を目指すために、職群班設置に関し検討・協議を行い、受注の自己完結が出来る環境の体制・整備を図ります。

6. 独自事業の充実と後継者育成の推進

ますます盛春農園事業や正月飾り・筍出荷事業を今後も継続事業としていくため、多くの会員の参加・協力により遊休農地や放置竹林の解消及び地域における異世代交流と、食育の推進活動として引き続き取り組むとともに後継者の育成と会員の自主性を図ります。

7. 組織体制の充実と強化

事務の増加・複雑化に対応するため、事務の効率化を目指し、役員や班長・現場リーダーと連携し、事務局体制の整備と会員組織の充実と強化を図ります。